

産業建設常任委員会

日時 平成25年2月20日（水）午前10時00分～
場所 第2委員会室

- 1 開議
- 2 亀岡市観光協会の現在の事業展開状況と今後の方向性、
課題について
（亀岡市観光協会参考人意見聴取）
- 3 ものづくり産業振興ビジョンについて（行政報告）
（産業観光部説明）
- 4 観光施策について
（産業観光部との意見交換）
- 5 都市計画道路の変更について（行政報告）
（まちづくり推進部説明）
- 6 その他



亀岡市議会
産業建設常任委員会
説明資料

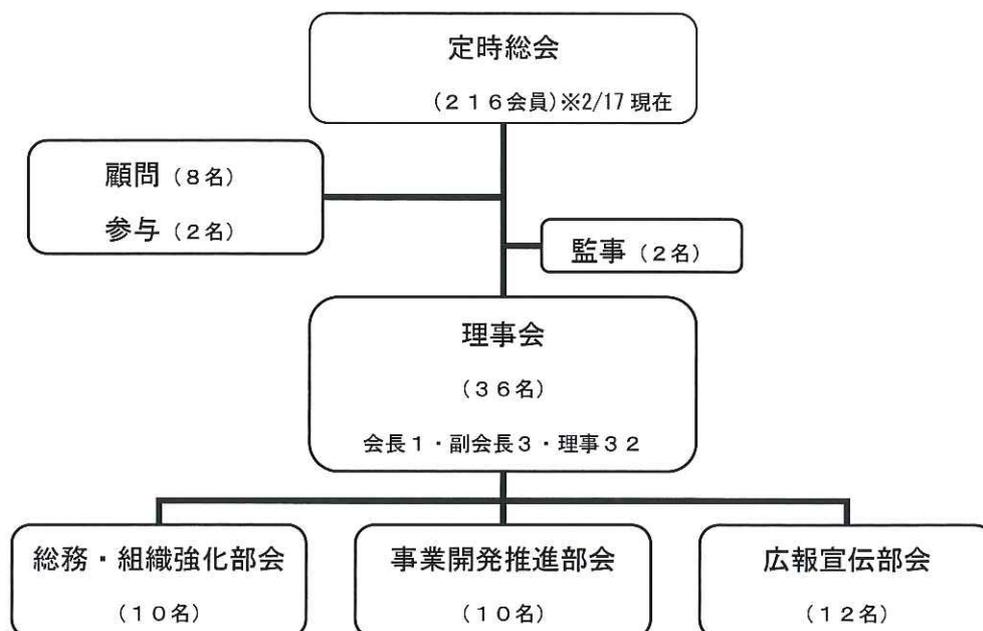
平成25年2月20日

 亀岡市観光協会

亀岡市観光協会の概要

- 設立 昭和40年6月24日
- 会員 216名（平成25年2月17日現在）
 - ・年会費 1口10,000円～
 - ・観光事業に関する販売業および観光関連事業等の関係者、その他本会の趣旨に賛同し、会費を納めるもの
- 事務局 亀岡市追分町谷筋1-6 JR亀岡駅2階（亀岡市管理施設）
- 役員 理事36名（うち、会長1名・副会長3名）、
監事2名、顧問・参与若干名

組織構成図



- 案内所
 - 事務局・JR亀岡駅観光案内所（JR亀岡駅2階）
平日4名、休日3名体制（職員4名、臨職4名）
 - トロッコ亀岡駅観光案内所（トロッコ亀岡駅1階）
トロッコ運転日1名体制（臨職2名）
 - 城下町観光案内所（旧城下町内、亀岡市本町の町家）
1名体制（臨職2名）※週休2日、イベント期間は無休

観光振興の取組み

- ・観光入込客数 214万6千人（H23年度）
- ・積極的に観光キャンペーン活動（PR事業）を展開
- ・3大観光（湯の花温泉、保津川下り、トロッコ列車）のネットワーク化
- ・市内観光資源の有機的活用による、滞在・滞在時間の延長を企画

主な事業

■ 亀岡観光の振興

亀岡3大観光（湯の花温泉、保津川下り、嵯峨野トロッコ列車）

亀岡光秀まつり、亀岡平和祭亀岡大踊り大会・保津川花火大会、亀岡祭

■ 花の観光亀岡

夢コスモス園、ききょうの里、紅葉名所づくり、紅葉ライトアップ

岩つつじ補植、桜・紅葉名所めぐり

■ 亀岡市観光写真コンテスト

亀岡の隠れた観光名所を発掘する目的で毎年開催

■ 観光PRの充実

京阪神のJR、私鉄各駅で観光キャンペーン

■ 広域観光キャンペーン

府、市、府観光連盟、日観協と連携した観光PRの推進

■誘客促進事業

- ・京都観光プロモーション会議（府観光連盟主催）
首都圏旅行会社へのPR
- ・亀岡観光誘致プロモーション（市観光戦略課共催）
京阪神旅行会社企画担当者を招請したモニターツアー

■地域資源を活かした観光振興

城下町観光案内所「本町・町家カフェ」の設置
築100年以上の町家を借り上げ、観光案内所として活用
以前は地域のまちづくり団体が交流拠点として利用していた
平成24年7月7日にプレオープン、同21日に正式オープン

■丹波亀山城下町宝さがしゲーム

平成24年度で4回目の開催
光秀公が基礎を築いた旧亀山城下町の魅力をPRし、観光客の滞留を
促す新たな観光資源として磨き上げるため開催

	項 目	内 容 等
	4) 地域資源を活かした観光振興の推進 ①城下町の空き町家を活用した観光拠点づくり ②丹波亀山城下町宝さがしゲームの開催	
	5) 光秀公のNHK大河ドラマ実現に向けた取り組み ①日本放送協会等へ関係団体とともに要望活動 ②明智光秀公ゆかりの地連絡協議会との連携 (光秀公にゆかりのある府内外の14団体で構成) ③NHK大河ドラマ誘致推進協議会との連携 (光秀公・ガラシャにゆかりのある府内8市町の関係団体で構成) ④署名活動の展開	○陳情、請願 ○署名キャンペーン等
	6) その他 ①体験型観光の推進	○農作物収穫体験、工芸、陶芸等のPR
4 環境整備事業	1) 各種観光整備事業 ①紅葉等の名所づくり(中長期計画) ②保津溪谷・岩つつじの補植 ③観光地の美化 ④道標等の看板設置・補修	○市内社寺等の選定 ○ハイキングコース等
5 協賛後援事業	①各種行催事への協賛、後援の実施	
6 組織向上事業	1) 組織の充実・強化 ①会員数の拡大 ②部会(総務・組織強化、事業開発推進、広報宣伝)の開催 ③会報誌の発行 ④先進地視察研修の実施 ⑤一般社団法人化の検討	○会員相互の連携 ○課題の整理と、移行年度の決定

明智光秀公を軸にした各種事業展開について

■明智光秀公ゆかりの地連絡協議会（4府県14団体）

- ・平成19年8月に設立。（協議会会長…亀岡市観光協会会長）
- ・福井、岐阜、滋賀、京都に所在する、光秀公ゆかりの地の団体で組織
- ・平成20年の第2回総会（亀岡市）において、光秀公の顕彰と再評価、観光振興を図る目的でNHK大河ドラマ誘致の署名活動を開始
- ・年1回、相互の交流と情報交換を目的に総会を開催

■NHK大河ドラマ誘致推進協議会（府内7市1町）

- ・平成23年4月に設立。
- ・光秀公、ガラシャ、細川幽斎、細川忠興にゆかりのある自治体、商工団体、観光団体等で組織
- ・平成25年度から、丹波市、篠山市、向日市が加入

■署名活動の実施（明智光秀公ゆかりの地連絡協議会）

- ・亀岡市内では、観光施設、宿泊施設、飲食店等30カ所で署名を実施
- ・丹波亀山城下町宝さがしゲームにおいても参加者に署名を依頼
- ・署名数 約39,500人

■PR・啓発活動

- ・歴史作家を招いた歴史講演会の開催
- ・市内の光秀公ゆかりの地を巡る歴史探訪会
- ・光秀公が丹波で行った善政を紹介するパンフレットを作成

■亀岡光秀まつり

- ・平成24年度で40回を数える亀岡の春を代表する一大行事
- ・光秀公を筆頭に旧城下を総勢500名が練り歩く武者行列
- ・第33回以降は、亀岡春まつりを「亀岡光秀まつり」に改称

■城下町観光案内所「本町・町家カフェ」の設置

- ・旧城下の礎を築いた明智光秀公の功績を、まちなか観光を通して発信するため、情報発信拠点として開設

■丹波亀山城下町宝さがしゲーム

- ・JRとのタイアップチラシやポスターを用いてイベントの開催を広く京阪神にPRし、「丹波亀岡＝光秀公のまち」というブランドイメージを発信する。



明智光秀公ゆかりの地連絡協議会 第6回総会(11/26) 丹波亀山会議'08にて、署名活動開始を発表(H20)



NHK大河ドラマ誘致推進協議会設立総会(H23.4/27) 第40回亀岡光秀まつり 明智光秀公武者行列(5/3)



光秀公大河ドラマ実現のため署名活動を展開

丹波亀山城下町宝さがしゲームの開催(7/21~12/9)

総会には「明智かめまる」「舞鶴商工会議所青年部の「ゆうさいくん」なども登場し、一致団結してドラマ誘致を働きかける姿勢を明らかにした



光秀を大河に

平成26年度放映目指す

誘致推進協議会を設立

戦国時代の武将・明智光秀とその娘・細川ガラシャを主人公にしたNHK大河ドラマの放送実現に向けて取り組んでいく「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」が4月27日、亀岡市など府内7市町と関係団体で設立。長岡京市で総会が開かれ、2014年の放映を目指すして各地のイベントなどを通して連携を図り、PR活動を展開する基本計画を決めた。

7市町は光秀、娘のガラシャ、娘婿の細川忠興、その父・藤孝(幽斎)や、光秀と羽柴秀吉が戦った山崎の合戦の地にゆかりがある亀岡、福知山、舞鶴、宮津、長岡京、京丹後市と大山崎町。このほか、各商工会議所、観光協会など関係17団体で構成する。

全国各地で大河ドラマの誘致競争が行われていることから、「父と娘」という新たな機軸で連携して誘致活動を行い、観光振興につなげる狙い。

27日には長岡京市立図書館で栗山正隆亀岡市長ら首長や団体の代表者らが参加して設立総会が開かれ、設立趣意書、会則、基本方針、基本計画などを決めた。

ドラマ放映は京都縦貫自動車道完成予定の2014年を目標に、行政と民間の協力により広域連携のもとで積極的に誘致活動を進め、各種イベント、講演会、フォーラムなどでPR活動を展開する方針を打ち出した。

総会には亀岡市のゆるキャラ「明智かめまる」をはじめ、舞鶴商工会議所青年部の「ゆうさいくん」なども登場。各市町での活動を報告し合った。

2013年の大河ドラマが福島県にスポットを当てた「新島八重」に決定したことから、2014年ドラマに向けてのNHKの動きに注目が集まっており、協議会でも今後、話し合っていく予定。

来月6日には幹事会が亀岡市役所で予定されており、今後の活動の詳細が決定される。

光秀の人物像見直して

亀岡市観光協
大河誘致向け 紹介パンフ作製

亀岡市観光協会はこ
介パンフレットを作製
のほど、明智光秀の紹
した。NHK大河ドラ



亀岡市観光協会が作製した明智光秀の紹介パンフレット

マ放映を目指す活動に
合わせ、実現への機運
盛り上げも目指す。

光秀を「逆臣」では
なく戦略と領国支配に
秀でた武人、文人と位
置付けた。人物像▽丹
波平定▽亀山城▽本能
寺の変▽周囲の人々
に分け、地図や年表、
写真を配した。

亀山城近辺の史跡を
巡るガイドマップ、兵
庫具丹波地方や宮津市
方面への進軍、山崎の
戦いの陣地など光秀ゆ
かりの地域を幅広く紹
介したのが特徴。

同協会は「光秀に関
する一般向けで読みや
すい資料がなかった」
といい、福知山、京丹
後や舞鶴など含む全国
の関係市町に配る。変
形A4判(縦約30センチ、
横15センチ)、22ページ、8ペ
ジの概要版3万部と合わ
せて計5万部作製。亀
岡市観光協会 ☎077
1(29)5152。

(小池直弘)

ドラマ化実現へPRパンフ制作

亀岡市観光協会は、地元のみならず、亀山城を拠点に活躍した戦国時代の武将・明智光秀を紹介するパンフレット2万部を制作した。本能寺の変で主君・織田信長を討ったため「謀反人」「逆臣」という印象の強い光秀だが、功績を市民や観光客に広く知ってもらい、テレビドラマの実現につなげたい考えだ。

同協会は07年に「明智光秀公ゆかりの地連絡協議会」を発足。昨年4月には同市や長岡京市、福知山市などが中心となり「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」が発足し、署名活動をしている。

「光秀」の生涯解説 案内所などで配布

亀岡市観光協

パンフレットでは、5年に及ぶ丹波攻略や本能寺の変のいきさつなど光秀の生涯を解説。また、領民たちに愛された優秀な統治者としての顔も紹介している。市内にある光秀に関連する寺や城跡を紹介し、城下町散策が楽しめる地図もある。

A4変形版、カラー22ページ。JR亀岡駅前前の観光案内所などで無料配布する。キャンペーン用の概要版(8ページ)も3万部作り、署名活動などの際に活用する。問い合わせは同協会(0771・29・5152)。

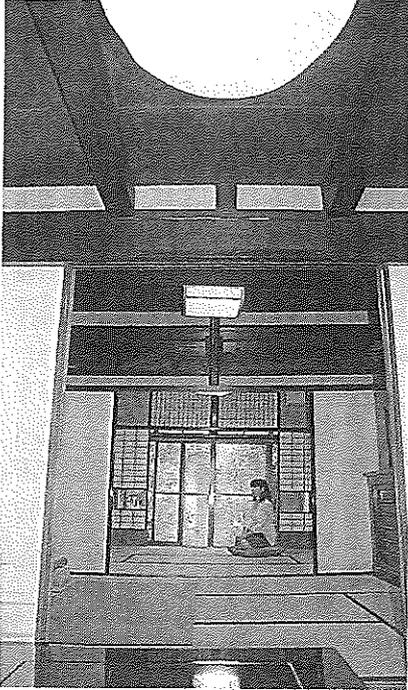
【花澤茂人

旧城下町巡り 新拠点誕生

亀岡市と観光協が案内所

亀岡市本町に7日、「城下町観光案内所」が仮オープンした。市と観光協会が、市民団体が開設していた「本町町家ショップ」を改装。旧城下町を巡る観光と地域振興の拠点として整備した。

町家を改装 工芸品展示



畳やふすまを新しくし、まちなかの観光拠点として期待される
城下町観光案内所(亀岡市本町)

同ショップは、亀岡駅周辺地区まちづくり協議会が町家再生の一環で5年前に開いた。市も家賃の一部を補助していた。昨秋、同ショップの運営や有効的活用について市に相談があり、JR亀岡駅に続く観光協会の2カ所目の案内所とすることにした。

市と観光協会は5月から町家を改装。これまで使っていなかった部屋のふすまや畳を入れ替え、壁も塗り直した。6畳2室、4畳半2室と玄関に約8畳分のスペースがある。

観光協会職員1人が常駐する。パンフレットを置き、人気キャラクター「明智かめまる」の関連商品も販売する。和室は観光客の休憩所のほか、工芸品な

どの展示にも利用して「いよつにしたい」と話してもらう。市観光戦略課の奥村泰幸課長は「旧城下町の雰囲気を生かしてゲーム開始に合わせ、21日に正式オープンする。当面は午前10時〜午後5時の予定。0771(55)9493。(松本邦子)」

城下町観光に期待

「宝探し」観光案内所スタート

城下町観光案内所の本格運用と、宝探しゲームが21日から始まり、新たな展開を見せる旧城下町観光に期待が高まっている。

「宝探しゲーム」

城下町を中心とした宝探しゲームが始まった。4回目となる今年は、毎年

人気の企画を観光戦略に最大限利用したいと、昨年より約3週間長い141日間の実施となる。今年

の宝探しは、戦国



今年度の宝探しは、戦国武将・明智光秀の娘・玉子を探して明智かめまるが現代にタイムスリップするストーリーだった。昨年の世界観を引き継ぎ、光秀が隠した過去から未来への贈り物のかめまると一緒に探すという設定で始まった。

JR亀岡駅観光案内所をスタートし、旧城下町に隠された4つの謎を探して本町・町屋カフェに報告すればゲームクリア。かめまるグッズがもらえるほか、湯の花温泉宿泊券や保津川下り乗船券などが抽選で当たる。これまで

はゲームを楽しみながら城下町を観光してもらうねらいで、ゲームの難易度やチェックポイントなどを設定していた。しかし、3年間の実績から参加者はゲーム中に宝探し以外のことをほとんどしていないことが分かった。

「ゲームが長引き観光する時間がなくなった」と、市外の参加者に合わせて難易度を下げた。また、捜索範囲を狭めてチェックポイントを減らし、2時間を目安にクリアできる内容にした。

参加者には首下げの参加証明札を渡し、安全対策と参加者意識の高揚をはかる。昨年引き続き実施の

ヒントがもらえるお助け番所の店やゲーム協賛店に証明札を提示すると、宝探しクリア後も様々な割引特典が得られる。問い合わせはJR亀岡駅観光案内所（電話22・0691）。

【城下町観光案内所】
亀岡駅周辺地区まちづくり協議会が観光交流拠点「町家ショップ」として活用していた建物を、亀岡市観光協会が引継ぎ、城下町観光案内所「本町・町屋カフェ」として整備。JR亀岡駅、トロッコ亀岡駅に続く3カ所目の案内所となった。

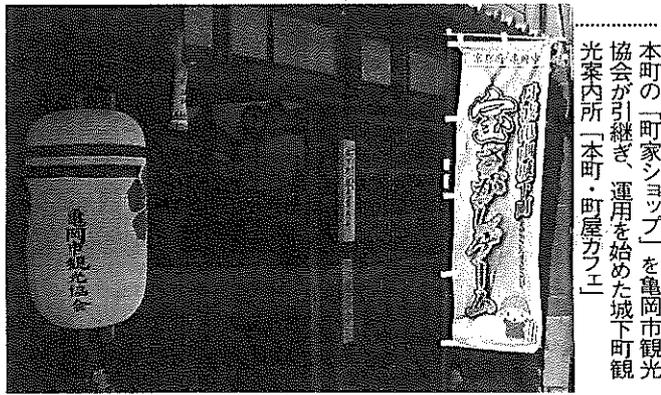
まち協は、空き家だった町家を再生させて住民の交流と情報発信の拠点にしようと、町家ショップを2007年にオープン。イベントや市民の手作り品販売、カフェなどの事業を行い、町のにぎわいを作ってきた。

市からの補助を受けながら運営を5年間行ってきたが、継続が難しくなると市に相談、観光協会が案内所として有効活用することになった。

観光協会は、畳の入れ替えや塗装、備品の交換などを行い、物件所有者からこれまでより2室多く借りて約100平方メートルのスペースを使う。

観光協会の職員が1人常駐、観光客に対し、市内案内を主な事業に、観光グッズの販売や休憩所の提供などを行う。さらに、日替わりの出店者によるカフェや展示販売などの利用も提案している。

宝探しが行われている12月9日までは不休で、10時から17時まで開所する。その後の開所時間などは未定。



本町の「町家ショップ」を亀岡市観光協会が引継ぎ、運用を始めた城下町観光案内所「本町・町屋カフェ」

大河誘致へ署名活動

亀岡市と観光協会 目標2万人



「かめまる」も応援

戦国武将の明智光秀と娘の細川ガラシャらを主人公とするNHK大河ドラマの実現に向け、亀岡市と市観光協会は13日、追分町の西友亀岡店で署名活動を行った。ご当地キャラクターの明智かめまるも登場し、署名を呼びかけた。

光秀やガラシャにゆかりがある亀岡、長岡京など府内8市町が大河ドラマ誘致推進協議会を目標に掲げ、各市町

大河ドラマ誘致の署名に応じる買い物客(亀岡市追分町・西友亀岡店)

は2万人。亀岡光秀まつりなど各種の催しで実施してきたほか、7月からは人出の多い大型スーパーでも行い、署名集めにいっそう力

を入れている。現在、約4千人が集まったという。

この日は、市や観光協会の職員がパネルやのぼり掲げて大河ドラマ誘致をPRし、市民に署名を呼びかけた。買い物客らは署名に応じ、明智かめまるとの記念撮影も楽しんでいった。

17日には亀岡運動公園プール(吉川町)でも署名活動を行う。

(小池直弘)

大河実現へ連携を確認

光秀ゆかりの地
連絡協が総会

京都府内や岐阜県内の観光協会などでつくる「明智光秀公ゆかりの地連絡協議会」の総会が26日、長岡京市天神の市立図書館で開かれた。写真。光秀や娘の細川ガラシャを主人公とするNHK大河ドラマの実現に向け、出席者が連携を確認し



同会は光秀の居城が

あつた亀岡市の観光協会を事務局に、光秀が足跡を残した長岡京市や大山崎町、福知山市、光秀の出身地とされる岐阜県の可児市や恵那市などの観光協会や顕彰会で構成。5年前から年1回集まって親交を深めている。

総会では、府内8市町でつくるNHK大河ドラマ誘致推進協議会の会長である小田豊・長岡京市長があいさつ。(2014年の)

大河は黒田官兵衛になつたが、仕方がない。ドラマ実現には光秀に係する自治体が連合体を組むのが重要だ」と相互協力を訴えた。

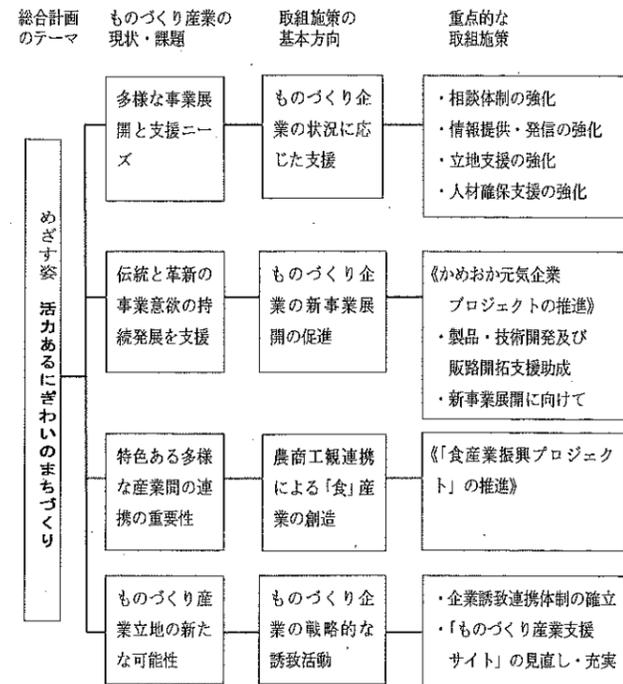
続いて、構成団体が光秀をテーマにした勉強会や講演会、祭りなどの活動内容を報告した。大河ドラマ実現に向けた署名活動やリーイベントなどの取り組みも紹介された。

(高野英明)

第5章 ビジョンの推進と進捗管理

【ビジョンの全体像】

ものづくり産業振興施策の体系



「ものづくり産業のめざす姿」と取り組み施策との関連付け

キーワード	コンセプト	関連する主な施策展開
つながり	産業間連携の推進	食産業プロジェクト（農商工観連携）の展開
	企業間連携の推進	新製品・新技術支援制度（共同開発）
	関係機関などの連携の推進	相談支援体制の充実確立 情報発信の充実 庁内連携体制の確立（企業立地、インフラ整備など）
	人と人のつながり	新事業・新技術研究会（若手人材、研究開発者など）
こだわり	ものづくりへのこだわり	新製品・新技術支援（単独・共同開発） 新事業・新技術研究会（若手人材、研究開発者など）
	亀岡に対するこだわり	新製品・新技術支援制度（単独・共同開発） 食産業プロジェクト（農商工観連携）
がんばり	成長へのがんばり	新製品・新技術支援制度（単独・共同開発） 販路開拓支援制度（国内・国外） 食産業振興プロジェクト（農商工観連携）
	地域を支えるがんばり	既存企業の事業継続・取組支援 人材育成、雇用就業支援 戦略的な企業誘致の推進
めざす姿	活力あるにぎわいのまちづくり	

平成25年2月作成

【ビジョン実現に向けた連携体制】

《市の役割》

- ・国・府・市などの支援施策を、事業者が効果的に活用できるよう、商工会議所との連携を強化
- ・交通インフラの改善や開発規制の調整など、環境整備に向け、庁内部局連携による支援体制の充実
- ・関係機関との緊密な連携のもと、理事者を先頭にした積極的な企業誘致活動

《相互連携によるビジョンの推進》

- ・地域経済におけるものづくり産業の役割の重要性について、事業者、市民の共通認識を高めることが必要
- ・亀岡市、京都府、亀岡商工会議所の連携強化とあわせ、京都産業21などの産業支援機関や、京都学園大学をはじめとする教育機関などと相互連携を図り、ビジョンの実現をめざす

【計画の目標及び進捗管理】

《ビジョンがめざす到達目標》

- ・製造品出荷額 (H22: 1,300億円 → H29: 1,500億円)
- ・誘致支援事業所数（増改築含む）(H24: 30事業所 → H29: 40事業所)
- ・ものづくり産業従業者数 (H24: 6,000人 → H29: 6,500人)

《取組目標》

- ・亀岡市新製品、新技術等開発支援助成活用企業数 (各年 5件)
- ・亀岡市販路開拓等支援事業活用企業数 (各年 10件)
- ・ものづくり産業ふるさと雇用支援事業による助成雇用者数 (各年 100人)
- ・国、府支援制度の活用相談支援企業数 (各年 10件)
- ・食産業振興プロジェクト 連携事業・新事業展開等取組件数（運用後各年 5件）

《ものづくり産業振興会議の設置》

振興施策の進捗状況や成果を定期的に点検し、問題点の見直しや新たな施策の検討などを行うため、市を中心に行政機関、産業団体、大学、企業者などで構成する「(仮) 亀岡市ものづくり産業振興会議」を設置

亀岡市ものづくり産業振興ビジョン（案）の概要

第1章 目的と位置づけ

【目的】

- 《背景》ものづくり産業は、本市産業の中でも製造品出荷額や従業員数などの割合も高く、ものづくり産業の振興は他産業への製品の供給、地域雇用の創出、消費の拡大、税収の確保など地域経済活性化に大きな波及効果が期待できる
- 《目的》本市の特性や強みを活かして、産業間連携の推進を視野に入れ、市内ものづくり産業の振興を図るための総合的な指針

【位置づけ】

『第4次亀岡市総合計画』における産業振興の基本方針である「活力あるにぎわいのまちづくり」及び『第4次亀岡市総合計画』の前期基本計画に掲げる、4つのものづくり産業の振興方針（「企業誘致の推進」「産学官連携及び農商工観連携の推進」「新産業の創造」「付加価値の高い産業の振興」）を具体化する方策のひとつ

【期間】

平成25年度から平成29年度までの5年間

第2章 ものづくり産業の現状と振興に向けた課題

【亀岡市の産業の特徴】

- ・ものづくり産業（製造業）の比重が高く、多様な企業が立地。50人未満の事業所が約9割
- ・農業は、伝統的な京野菜の生産をはじめ、農業の6次産業化の取り組みも推進
- ・商業は、厳しさを増す経営状況。その一方で集客を増す取り組みの動き
- ・三大観光と多様な観光資源、ネットワーク化に課題。新たな魅力発信の取り組みを展開

【ものづくり産業の現状と課題】

- 《現状》バブル崩壊以降、全国的に事業所数や従業者数が大幅に落ち込む中、本市は既存立地企業の努力などで、大きな落ち込みを回避。リーマンショック以降、6割の企業で売上及び営業利益が減少
- 《経営上の問題点》「国内需要の消費の低迷」、「販売価格・受注単価の下落」、「原材料価格の高騰」、「設備の不足・老朽化」、「従業員の高齢化・若手の確保」、「技術・技能の継承」など
- 《課題》「営業・販路開拓力の強化」、「製品企画・開発力の強化」、「コスト競争力の強化」、「企画・提案力の強化」、「技術開発力の強化」など

【ものづくり産業の支援ニーズと展開意向】

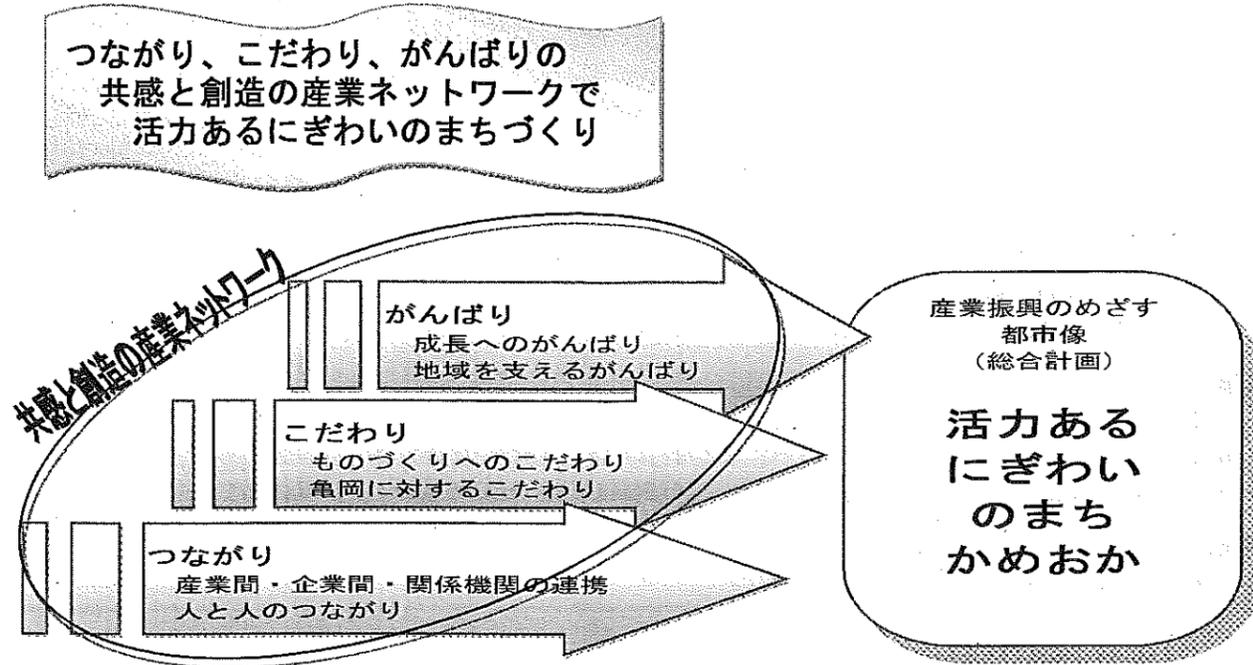
- 《支援ニーズ》「受注・販路開拓支援の充実」、「資金調達支援の充実」、「製品開発・技術開発支援の充実」、「人材確保・雇用支援の充実」など
- 《展開意向》「競争力ある製品開発」、「小ロット・超短納期対応」、「販売方法の工夫」、「国内外での販路開拓」など
- 《課題》個々の企業の支援ニーズや展開意向にも対応できる支援体制、付加価値を持った企業活動の支援

【ものづくり産業振興のための課題】

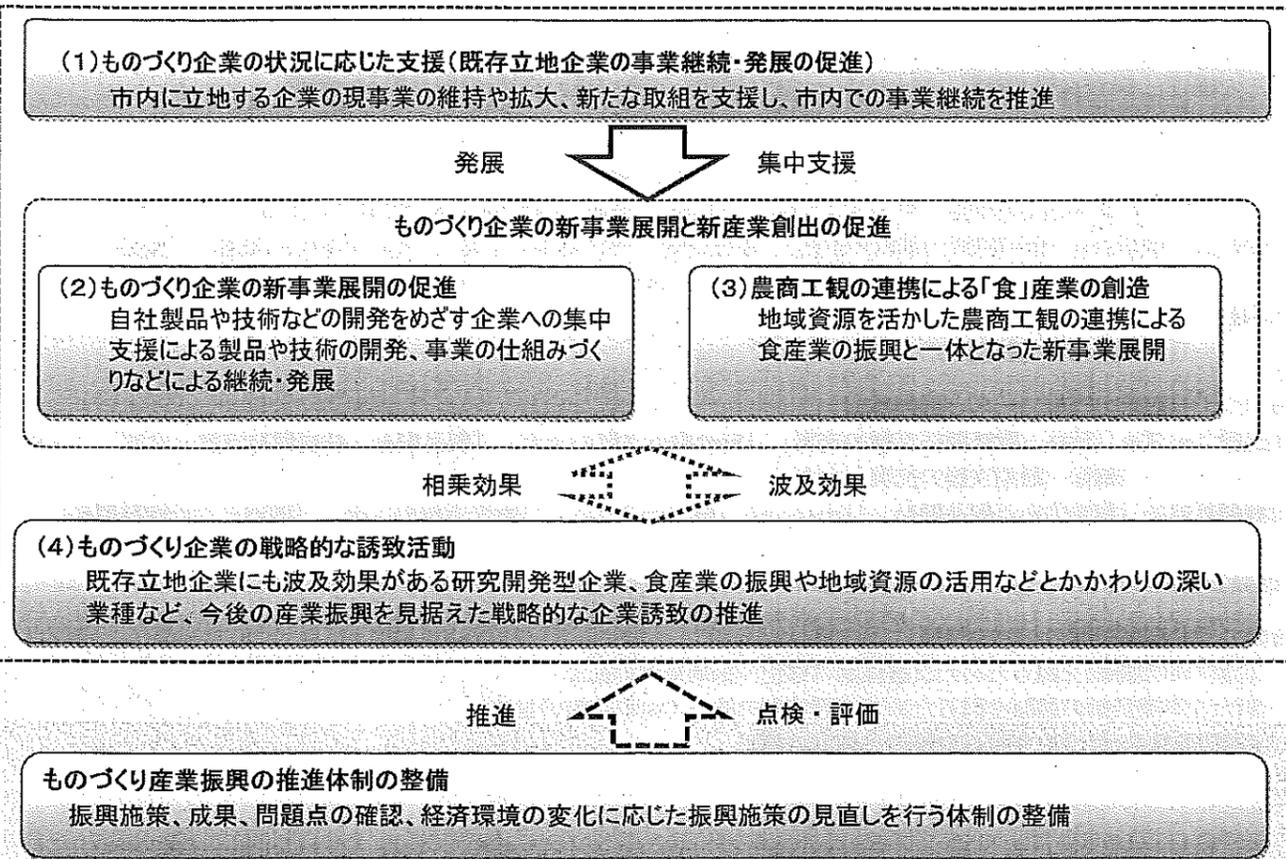
- ・企業の事業継続を図るための支援体制の強化や振興施策の拡充
- ・新たな事業活動の展開を図るための支援体制の強化や振興施策の拡充
- ・産業間連携を促す取り組みの推進と体制の構築
- ・既存企業との関連性なども考慮した、ターゲットを明確にした企業誘致活動の推進

第3章 めざす姿とものづくり産業振興の基本方向

【ものづくり産業がめざす姿】



【ものづくり産業振興の基本方向 ~ 4つの柱 ~】



第4章 ものづくり産業振興施策の展開

(1) ものづくり企業の状況に応じた支援(既存立地企業の事業継続・発展の促進)

- ①相談体制の強化：専門的知識を有する相談員の確保をはじめ、関係機関と連携して支援を展開する体制の確立
- ②情報提供・発信の強化：支援施策の活用を促進するため、必要な情報を迅速、適切に提供する体制の充実
- ③立地支援の強化：助成制度の継続や、開発などに係る協議・調整を迅速に対応していくための庁内体制の構築
- ④人材確保支援の強化：助成制度の充実や、若手人材の確保への取り組み
- ⑤資金調達支援の強化：助成制度の継続・見直し
- ⑥製品技術開発及び販路開拓支援の創設
 - ・「新製品・新技術開発助成制度」：製品や技術の開発など、企業の事業意欲を後押しするための助成制度
 - ・「販路開拓支援助成制度」：新たな販路開拓を目的に、国内外の展示会への出展費用の一部を助成する制度

(2) ものづくり企業の新事業展開の促進<(仮)かめおか元気企業プロジェクト>

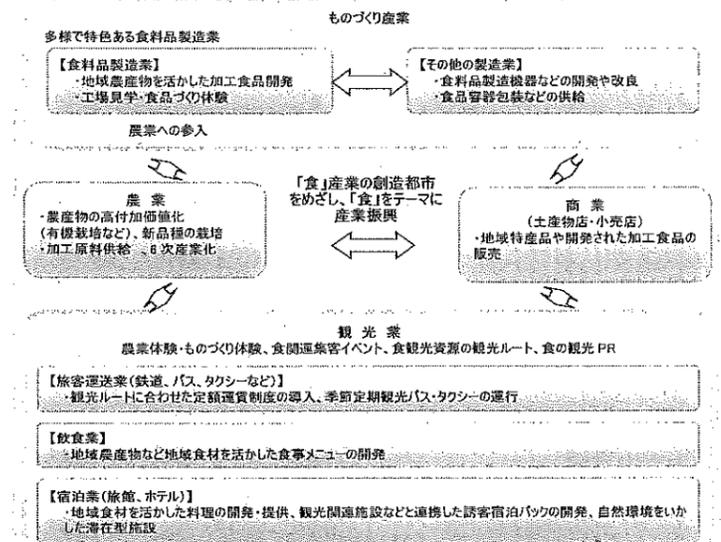
- ①企業への集中支援
 - ・自社製品や技術の開発、事業のしくみなどを構築する事業意欲の高い企業やグループに対する集中支援
 - ・新製品・新技術開発の取り組みに対する助成、販路開拓に対する助成を、対象企業には一体的に支援
- ②新産業創出・新事業展開に向けた研究会
 - ・意欲的な取り組みを広めるため、地域人材の交流を促進するとともに、新産業創出に向けた研究会を組織化
 - ・ものづくり企業の若手経営者や後継者、開発・設計担当者、研究者、新起業家などの若手人材の参加を促し、事業意欲の喚起と交流を促進
 - ・研究会の立ち上げや運営を支援するとともに、新事業創出を図るべく、亀岡市、京都府、国の産業支援施策を活用し具体的な取り組みを支援

(3) 農商工観の連携による「食」産業の創造

<(仮)「京都丹波かめおか」食産業振興プロジェクト>

「食」をテーマとした産業振興プロジェクトの産業連携図

- ・小規模であっても多様な食品製造業者が意欲的に活動している本市の地域特性を踏まえて、農商工観が連携して総合的な産業振興を図る上で、『食』をテーマとした取り組みは、亀岡らしさを発信する取り組みとして非常に有効
- ・高付加価値農産物の生産と連動した食料品製造業による食品加工、飲食店・宿泊施設による料理メニューの開発、観光ルートの開発など食産業にかかる連携した取り組みを展開
- ・既存の取り組みとの調整を図り、広域的な視点を含め、関係する機関や団体、事業者と協働し、プロジェクトの実現を推進



(4) ものづくり企業の戦略的な誘致活動

<企業誘致の連携体制と「ものづくり産業支援サイト」>

- ・誘致戦略の立案、誘致に向けたプロモーションと引き合い企業への迅速な対応のため、庁内体制の構築を推進
- ・多様な企業の立地や新たな産業拠点の形成促進のため、用地に係る開発規制の調整など、企業の誘致活動を強化
- ・亀岡商工会議所と連携を図り、「ものづくり産業支援サイト」の機能を向上させ、事業用地の概要や市内中小企業の特徴などの情報の充実と迅速な情報提供

<ターゲット営業の推進>

- ・今後の産業展開の方向性や施策展開との関連を重視したターゲット営業など、理事者によるトップセールスを含めた積極的な誘致活動を推進
- ・ターゲット営業の候補としては、既存のものづくり企業の刺激となる研究開発型企業や、本市の地域資源の活用可能性もある食料品や医薬品関連企業など

◆都市計画のお知らせ◆

—都市計画道路網の見直し(原案)について—

長期間未整備のままとなっている都市計画道路を対象に、計画の見直しに向けた「都市計画道路の変更(原案)説明会」を次のとおり開催します。多くの皆さまのご理解とご出席をお願いします。

平成25年 3月22日(金)19時30分～21時00分
 3月23日(土)10時00分～11時30分
 3月24日(日)13時30分～15時00分

場所はいずれも
市役所1階市民ホール

都市計画道路の変更(原案)の概要

位置については、裏面位置図をご覧ください。

以下の路線について、起点部や終点部の短縮等の変更や路線の廃止を行います。

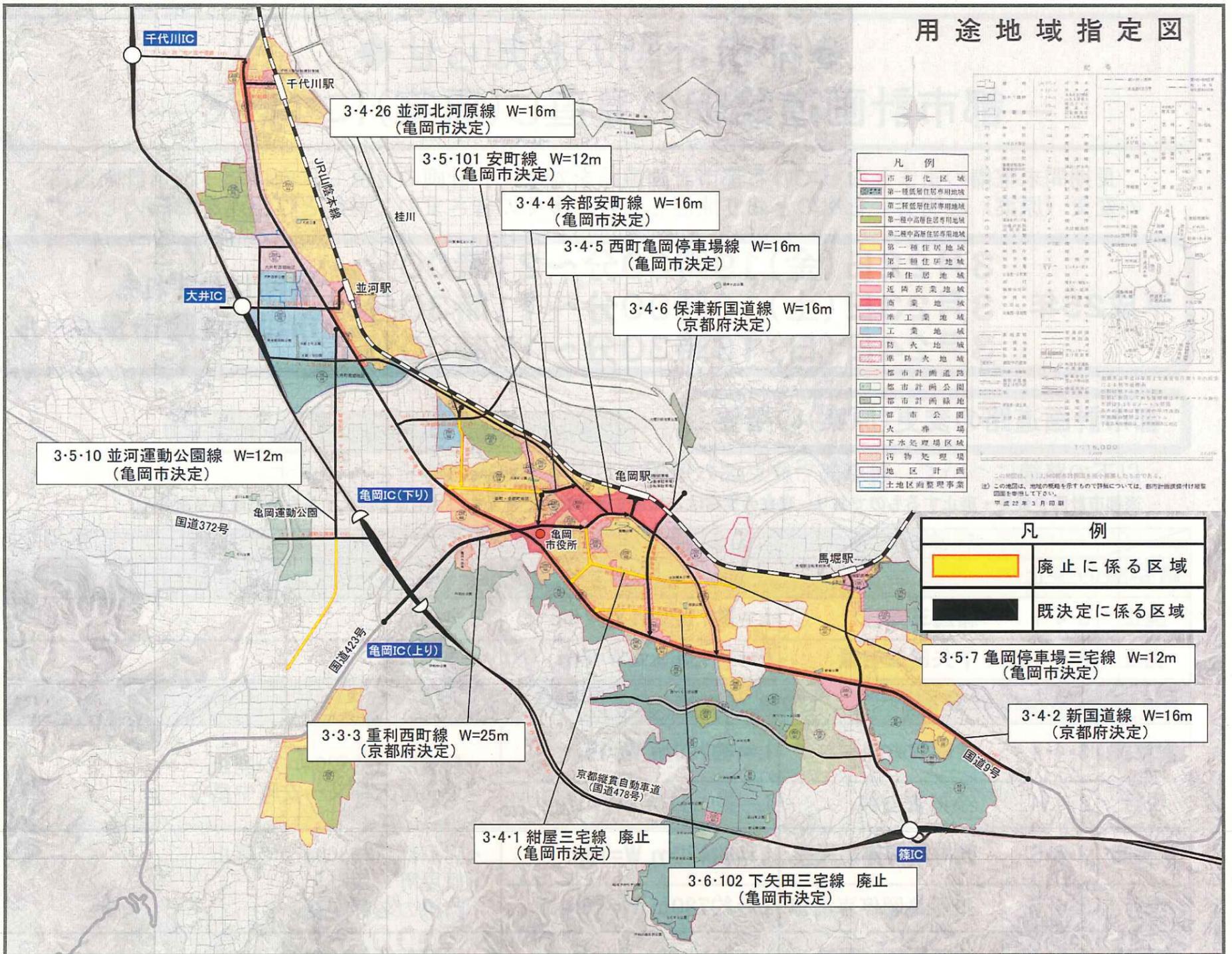
※都市計画を変更・廃止するものであり、現在の道路はこれまで通り利用できます。(現道を廃止するものではありません。)

	路線名	延長(L)及び幅員(W)	変更概要
■路線の廃止			
廃止	3・4・1 紺屋三宅線	L=約1,520m W=16m	・全線廃止
廃止	3・6・102 下矢田三宅線	L=約1,000m W=8m	・全線廃止
■起点部または終点部の廃止(路線の短縮)			
変更案	3・4・4 余部安町線	L=約290m W=16m	・起点部(約820m)の廃止 (余部町天神又～安町中畠)
現行	3・4・4 余部安町線	L=約1,110m W=16m	
変更案	3・4・5 西町亀岡停車場線	L=約430m W=16m	・起点部(約300m)の廃止 (紺屋町～西町) ・路線の名称変更
現行	3・4・5 紺屋亀岡停車場線	L=約730m W=16m	
変更案	3・5・10 並河運動公園線	L=約1,920m W=12m	・終点部(約1,260m)の廃止 (曾我部町穴太出井～曾我部町西条上千代) ・路線の名称変更
現行	3・5・10 並河西条線	L=約3,180m W=12m	
変更案	3・4・26 並河北河原線	L=約110m W=16m	・終点部(約600m)の廃止 (大井町並河坂井～余部町天神又) ・路線の名称変更
現行	3・4・26 余部北河原線	L=約710m W=16m	
■接続する路線の廃止に伴う隅切りの廃止			
変更案	3・3・3 重利西町線	L=約2,000m W=25m	・3・4・5紺屋亀岡停車場線の変更に伴う 終点部の区域の変更(隅切りの廃止)
変更案	3・5・101 安町線	L=約280m W=12m	・3・4・4余部安町線の変更に伴う 起点部の区域の変更(隅切りの廃止)
■交差箇所数の変更 ※都市計画上交差している上記の都市計画道路の廃止・変更に伴うもので、路線自体の変更はありません。			
変更案	3・4・2 新国道線	L=約10,150m W=16m	・幹線街路との平面交差箇所の変更(3箇所減)
変更案	3・4・6 保津新国道線	L=約1,400m W=16m	・幹線街路との平面交差箇所の変更(2箇所減)
変更案	3・5・7 亀岡停車場三宅線	L=約1,630m W=12m	・幹線街路との平面交差箇所の変更(2箇所減)

問 い 合 わ せ 先

わかりにくい点、ご質問などについて、お気軽にお問い合わせください。

亀岡市 まちづくり推進部 都市計画課 計画係 TEL (0771)-25-5040 (内線3312)



都市計画道路見直しの背景

昨年11月に改定した「亀岡市都市計画マスタープラン」に基づき、長期間未整備となっている都市計画道路について、社会経済情勢の変化などを踏まえた見直しが必要

背景1：将来人口・交通量の見通しの変化

背景2：まちづくりへの価値観の変化

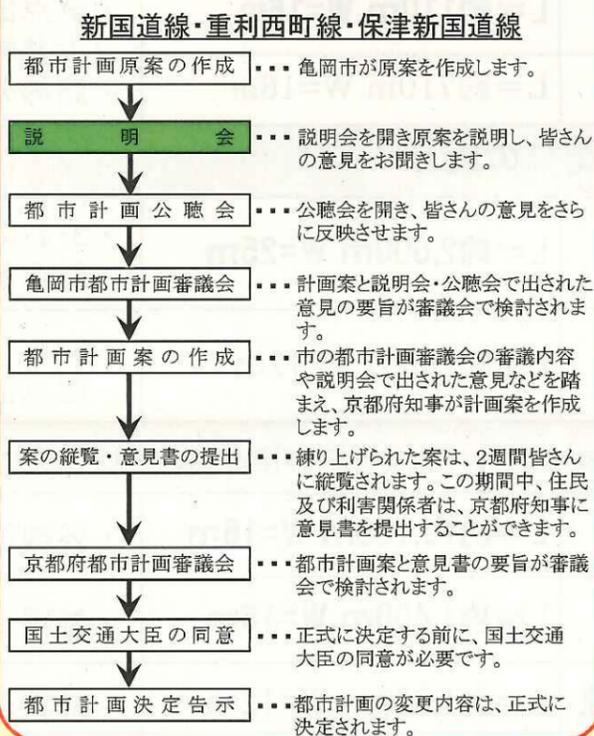
背景3：公共投資の重点化（財政的制約）

見直しの目的

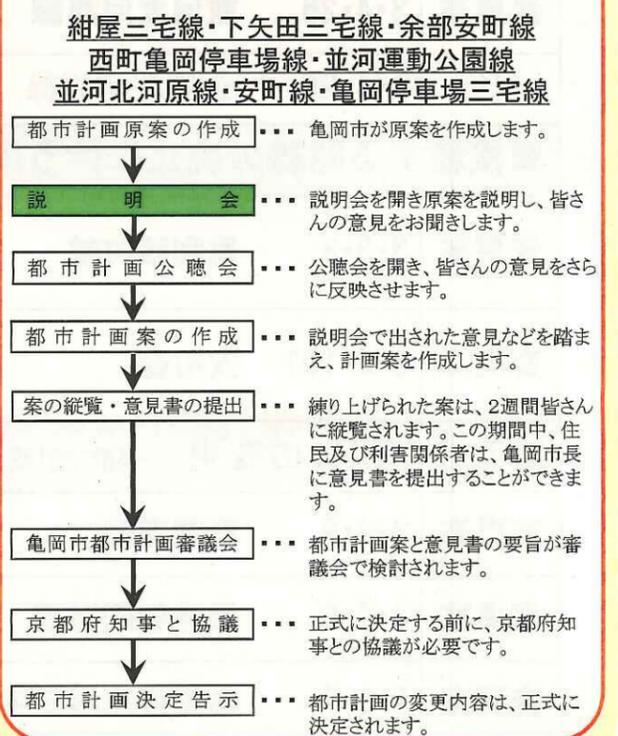
社会経済情勢の変化等を踏まえ、都市計画道路網の構築と効率的な道路整備を推進するため、**長期間未整備となっている都市計画道路を見直します。**

都市計画変更の手続き

◆京都府決定◆



◆亀岡市決定◆



《都市計画道路とは？》

まちを計画的に整備するために「まちの骨格となる道路」として将来整備する位置や区域をあらかじめ決めておく制度です。都市計画道路の予定区域には、都市計画法による建築制限が課されます。